

上田高等学校 関西同窓会報

第58号

2024年(令和6年)

1月17日(水曜日)

編集発行

上田高等学校関西同窓会

第33回総会 対面で開催 4年ぶり



第33回総会が例年通り9月の第1土曜日の2日に開催されました。ここ3年間、新型コロナウイルスの関係でリモート形式の総会が続きました。コロナも5種に移行し日常生活がとりもどされてきました。今回は久しぶりの対面と、リモート参加を併用しての開催です。

ご来賓として上田高校宮下美和校長、同窓会本部金子元昭理事長、関東同窓会矢島基美会長、中南信支部武村洋治顧問にご参加いただき、リモートも合わせ総勢30名の参加となりました。宮下校長先生には上田高校の近況についてその活躍ぶりをお話しいただきました。総会は石沢誠司氏(60期)の議長のもとすべてご承認いただきましたのでご報告いたします。

第2部は奈良県立医科大学酒井宏水教授(83期)に「人工赤血球の研究開発の状況」の演題で講演いただきました。丁寧な説明で大変わかりやすくお話しいただき、早く人工赤血球が実用化されることを願っています。ご多忙の中ご講演いただきありがとうございました。

第3部はおいしい食事をいただきながらアルコールもあり、久しぶりの方々と歓談し、旧交を温めました。全員で校歌を斉唱し、再会を約してお開きとなりました。

講演会

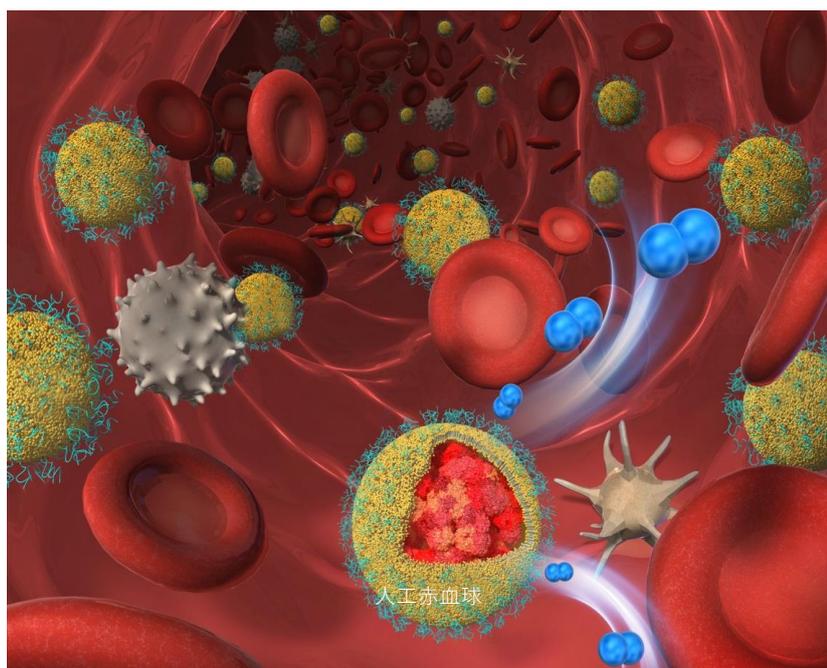
人工赤血球の研究開発の状況

奈良県立医科大学 医学部化学教室・教授 酒井 宏水

新型コロナウイルス感染症が蔓延したとき、政府が緊急事態宣言を発令したため、外出を控えることが多くなった。また感染者や濃厚接触者の献血を遠慮してもらったため、献血者数が急減した。少子高齢化により献血者数が漸減していることも事実である。献血システムはこのように社会情勢の変化の影響を受ける。日赤や医療機関の現場では、十分量の血液を確保するため不断の努力が続けられるとともに、広く献血の協力が呼びかけられている。

他方、輸血用赤血球製剤の保存期間は冷蔵で3週間から4週間に延長されたものの、輸送手段や備蓄量に限界が生じることが想定される。危機的出血にある傷病者に対し輸血をしたくても輸血が極めて困難となる状況がある。先ず、離島・へき地医療、夜間救急、緊急手術の現場では、輸血用血液を確保できないときがあると聞く。周産期管理の進歩により母体死亡率は著明に低下しているが、出血は依然、母体死亡の主要な原因とされている。大規模自然災害(東南海トラフ、首都直下型地震)、テロ、有事の際、輸血用血液の大量需要と迅速な供給の必要性にどう備えるか、国家的な危機管理対応策が必要である。また、輸血による感染症の発症は、献血液の検査によって極めて少なくなっているが、海外からの新興感染症の脅威に晒されている。

このような状況の解決策の一つになればと考え、使われずに廃棄せざるを得ない非使用赤血球(期限切れ、検査落ち)から、ヘモグロビン溶液のみを得て、これをリポソームに封入した人工赤血球(ヘモグロビンベシクル)を開発してきた。ヘモグロビンは酸素を可逆的に結合するタンパク質である。血液型抗原は赤血球膜の表面にあるので、ヘモグロビンを精製する工程で赤血球膜を除去すれば、もはや血液型は無い。加熱処理を経て精製するので、ウィル



血管内を流れる血液と人工赤血球の想像図

スなど病原体も無い。ヘモグロビン溶液を濃縮して、人工の細胞膜(リポソーム)で包むことにより、室温で2年以上の保存が可能な極めて安定な人工赤血球となる。粒子径は約0.25マイクロメートルで、赤血球の8マイクロメートルよりも小さく、赤血球が通過しにくい狭窄部位を通過できる。

動物試験では、例えば循環血液量の50%を失った出血性ショックモデルに対し、人工赤血球製剤を投与することにより蘇生できること、またその効果が赤血球輸血と同等であることを確認している。また、投与された人工赤血球は、肝臓や脾臓のマクロファージに捕捉され、支障なく分解、排泄される。血中半減期は数日程度なので、赤血球製剤の輸血までの繋ぎとしての利用が適当である。本製剤については、既に臨床試験が開始されている。また、移植用臓器保存液としての利用も検討されている。

他方、一酸化炭素(CO)を結合した人工赤血球が抗炎症作用・抗酸化作用を示すことがわかってきた。COは毒ガスとして余りにも有名であるが、投与量を調節すれば効能も得られる。解離したCOのターゲットは、活性酸素種(ROS)の産生に関与するヘムタンパク質で、ROSの産生を抑制することが効能の主要な機序と考えられる。毒(CO)をもって毒(ROS)を制する新しい治療薬として期待されている。また、酸化した人工赤血球は、シアン化物イオンを結合するので、シアン中毒のときの解毒剤に使用できることも動物試験で実証している。

紛争が絶えない海外に比べれば日本は極めて平和で、危機意識が余り醸成されていないこともあり、市場性がそう大きくは無いとの理由で本製剤に対する製薬企業の関心は残念ながら高くは無い。その様な状況においても本製剤はいずれ必要になるであろうと考え、大学研究者が主体となって、速くはないが着実に実用化に向けて研究開発を継続している。



奈良医大での人工赤血球の製造 (右が著者)

上田高校 NOW



生徒の自主活動紹介

校長 宮下美和

関西同窓会の皆様におかれましては、平素より上田高校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、感謝申し上げます。9月には、大阪の総会にお邪魔させていただき、多くの先輩方から貴重なお話を伺い、楽しい時間を過ごさせていただき、大変ありがとうございました。

SGH・WWLの流れを受けて、本校では、生徒の問題意識から生まれた自主活動が盛んです。探究は、今でこそ指導要領に位置付けられ、各校で行われていますが、本校の課題研究はその走りとして、一人一研究を大きな特徴として取り組んできました。

そのような探究活動の中から、生まれた生徒の自主活動をご紹介します。今春卒業した生徒が数年前に海野町商店街活性化に取り組む「うえわちゃ」を立ち上げました。今も後輩たちが元気に活動しています。今年は、「はじめてのおつかい in 海野町商店街」と銘打って小学生20名ほどが、おつかいに挑戦する企画を行いました。テレビさながらに子どものおつかいに高校生が密着し、その様子を録画してご家族に贈り大変喜ばれました。

カンボジア井戸プロジェクトも、数年前から受け継がれる企画で、松尾祭のバザーで集めたお金を持ってカンボジアへ渡航し、実際に井戸を掘ってくるというものです。コロナ禍の中断を経て、2023年3月には渡航して井戸を実際に掘ってきました。



うえわちゃが上田市の善行表彰を受けました



カンボジアで掘った井戸

これらの企画は教員主導ではなく、生徒発信で代々続いてきたものです。学校に頼りきりになるのではなく、自ら校外に出て、地域や現地の方とつながって、活動している様子は大変頼もしく、新しい学びの象徴のようでもあります。やりたいことをやりたいようにやるのが、上田高校生らしいとも感じるところです。

最後に厚かましいお願いです。これまで行ってきたSGH,WWLのプログラムは文科省の指定終了により、予算付けがなくなっています。なるべくお金のかからない企画に変更するなど工夫をしていますが、円安や物価高騰により生徒の海外研修はとて高額になっています。生徒にとって有意義な海外研修を残すべく、折に触れて同窓生の皆様へ生徒支援カンパをお願いしているところです。関西同窓会の皆様にもご検討・ご支援をいただければ幸いです。(振込先は学校の話をご覧ください。)

最近の上田高校の話題

同窓会係 金井 郁夫

新型コロナの大きな影響からは脱し、感染防止には充分留意しつつもほぼ平常通りの学校生活となりつつあります。ICTの時代、iPadなど使いこなしながらも、生徒たちのあの大きくて重いリュックも健在です。さて生徒会行事では、やはり松尾祭。6月30日からの3日間行われました。

メインテーマは、「DAWN!!」 コロナだけでなく、色々な意味での「夜明け」を期待してということでしょうか。3年間のブランク、短い準備期間にも関わらず、生徒たちは、役員を中心に集中して取り組み、松尾祭を創り上げました。在校生にとっては初めての一般公開も、入念な準備と当日の細やかな対応で、およそ4,400人のお客様に気持ちよくご来校いただきました。

アンデパンダン・合唱コンクール・ダンスコンテスト・後夜祭・・・それぞれに思い出がある方も多いのではないのでしょうか。

班活動においても、柔道班・剣道班・水泳班・男子ソフトテニス班が北信越大会に出場し善戦しました。最近は特に文化班の活躍が目立っています。室内楽班・新聞班・書道班・文芸班・棋道班が、日ごろの成果を発揮し、第47回全国総文祭(かごしま総文)に出場し、放送班は最高位、文部科学大臣賞を受賞しました。またクイズ班は、第6回高等学校総合クイズ大会の全国大会で強豪3校(灘・東大寺学園・松本深志)と大激戦を演じました。現代音楽班の「狂風」は高知での全国大会に出場を決めました。あと、班としてではありませんが、エアロビの世界大会に出場する生徒、演劇班の活動をしながらボディビル大会での優勝を目指す生徒など、勉学にも怠りなく、二刀流・三刀流?の多様な活動は上田高校に活気をもたらしてくれています。

学びという面では、SGH(スーパーグローバルハイスクール)からWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)と取り組んできた多くの活動があります。支援事業が終わったこれからが真価の間われるところでしょう。北陸新幹線サミットは対面とオンラインのハイブリッドで行われ盛況でした。台湾研修は、今年もオンラインとなりましたが今後も活動を継続させるためには大切な手段となることでしょう。もちろんリアルな対面、実体験はますます重要です。今年はボストンやフィリピンへの希望者によるスタディツアーが再開されます。すでに「海外研修旅行募金趣意書」をもってお願いをしているところではありますが、昨今の為替・国際情勢の中、生徒・家庭の負担が大きく、意欲がありながら断念せざるを得ない状況も生まれています。この場をお借りし、改めて募金への協力をお願いいたします。



振込先 八十二銀行 上田支店(312)

普通 1360077 口座名義 上田高校生徒支援会計

新年のご挨拶

会長 荻原 靖 (74期)



新年おめでとうございます

関西同窓会会員の皆様には、お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

とはいうものの、世界に目を向けますと、大勢の人々が砲火の中で、あるいは飢えをしのいで、私たちと同じ空を仰いでいる現実があります。

一方、「だれ一人取り残さない」というSDGs由来の言葉が世界を駆け巡っています。

そんな今、ジョン・レノンの名曲、イマジンをどこからか聞こえてきます。

Imagine there's no Heaven/It's easy if you try/No Hell below us/Above us only sky
/Imagine all the people/Living for today.. (中略) I hope someday you'll join us/
And the world will live as one

一日も早く平和な世の中がつかれるよう、自らにできることを考え行動したいと考えるものです。

本年もよろしく願い申し上げます。

上田高校関西同窓会令和4年度 活動報告

(令和4年9月1日～令和5年8月31日)

令和4年

9月3日(土) 第32回関西同窓会総会・講演会を開催 参加者 26名

(ZOOMによるオンライン会議採用)

講演会「日本の医療の現状と今後について考えること」

講師: 聖路加国際病院 副院長・聖カタリナ病院 理事長 小宮山伸之氏(74期)

8月26日(木) 1年生対象社会講座への協力

該当者無し

11月12日(土) 第15回文化サロン 参加者 10名

テーマ: クリスマスについて考える

講師: 武舎 一夫氏(73期) 関西同窓会文化委員長

場所: ホテル・アウイーナ大阪 207号室

上田高校同窓会会員大会と中南信支部総会は中止となり、代表者派遣は無し。

令和5年

1月17日(金) 関西同窓会報第56号発行

会報を電子化しメールのある会員にPDFファイルを送信した。メールのない会員および紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付した。

本部および他支部には、PDFファイルを送信した。

1月22日(土) 第1回役員会 (ZOOMによるオンライン会議採用)。出席者 8名。

3月4日(土) 第39回文化交流会

『中金堂再建の興福寺見学と奈良町散策』 参加者11名

5月14日(土) 第2回役員会。出席者8名。(ZOOMによるオンライン開催)

7月17日(金) 関西同窓会報第57号発行

発行部数は500部(関西同窓会会員430部、事務局用70部)

本部・関東同窓会・北海道同窓会・各支部へはPDFファイルを送付

QRコードによる第33回総会への申し込みを併用した。

8月26日(土) 第3回役員会。出席者6名。(大阪コロナホテル)

ふるさと会員 町田 高氏(73期)、矢島裕章氏(106期)

上田高校関西同窓会令和5年度 活動計画

(令和5年9月1日～令和6年8月31日)

① 令和5年9月2日(土) 第33回総会・講演会・懇親会を開催

参加者:30名(オンライン参加3名を含む)

会場 大阪コロナホテル (オンラインを併用)

講演 「人工赤血球の研究開発の状況」

講師 奈良県立医科大学教授 酒井宏水氏

② 広報委員会編集による関西同窓会報を年2回(1月17日、7月17日)発行する。

1月号については、PDFファイル(ワード)を作成し、メールのある会員に送付する。紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付する。(編集会議にて企画)

③ 文化委員会主催による文化事業を年2回開催し、会員相互の交流を促進する。

● 第40回文化交流会 令和5年10月21日(土) 参加者:8名

秋の南禅寺、蹴上インクラインなど散策と異文化交流を学んだ。

● 第16回文化サロン

日時:2024年2月25日(日)13:00~16:00

場所:ホテル・アウターナ大阪 207号室

テーマ:中国の台頭と米中競合(覇権競争)論を考える

④ 役員会開催

第1回 2024年1月28日(日)

大阪市立住まい情報センターにて開催予定

⑤ 上田高校同窓会本部会員大会をはじめ、関東同窓会総会、中南信支部総会などに代表が出席し、交流を深める。

⑥ 母校社会講座への協力

⑦ FACEBOOKなどのIT技術により会員交流の場づくりの拡充を行う。

(土屋広報委員長、他)

⑧ 上田高等学校の生徒が文化・スポーツなどの分野において、近畿地区で活躍する場合は応援する。

令和5年度 上田高等学校関西同窓会 予算案

期間(令和5年8月26日～令和6年8月25日)

単位:円

収 入			支 出		
科 目	5年度予算案	4年度実績	科 目	5年度予算案	4年度実績
前期繰越金	788,959	696,670	総会費用	250,000	0
総会費収入	143,000	0	会 報 費	150,000	136,517
年 会 費	150,000	164,000	通 信 費	10,000	0
特別年会費	30,000	35,000	渉 外 費	100,000	76,780
雑 収 入	100,000	149,510	事 務 費	15,000	0
利息収入	0	0	雑 費	30,000	42,924
次期総会参加 費前納金	70,000	56,000	予 備 費	30,000	0
			次期総会参加 費繰越分	70,000	56,000
			次期繰越金	626,959	788,959
合 計	1,281,959	1,101,180	合 計	1,281,959	1,101,180

上田高等学校関西同窓会 令和5年度 役員名簿

会 長	荻原 靖	74期			
副会長	金澤 信男	67期			
幹事長	隅田修一郎	64期			
副幹事長	佐藤 則一	70期	堤 宏記	79期	
会計長	尾崎 忍	76期			
監 事	竹内 俊隆	68期			
顧 問	該当なし				
企画委員会	委員長 尾崎 忍	76期(兼)			
	隅田修一郎	64期	金澤 信男	67期(兼)	上記役員全員
広報委員会	委員長 土屋 俊夫	83期			
文化委員会	委員長 武舎 一夫	73期	隅田修一郎	64期(兼)	
学年幹事	小泉 孝雄	49期	半田 仁志	50期	翠川 健彦
	大瀧 忠長	52期	荒井 正自	53期	清水 克正
	若林 忠之	55期	大野せき子	56期	中嶋 巖
	白井 彰彦	58期	伊倉 邦人	59期	山本 努
	黒岩 屹	62期	丸山 文夫	64期	恩田 隆
	金澤 信男	67期	知野 武文	68期	伊藤 秀一
	中村 智子	72期	武舎 一夫	73期	荻原 靖
	尾崎 忍	76期	戸田 有一	79期	土屋 俊夫
	近江 裕之	85期	高橋 路子	88期	
	ふるさと会員 町田 高	73期	矢島 裕章	106期	

文化交流会**京都市国際交流会館での講話と無鄰菴、南禅寺見学**

令和5年小春日和の10月21日(土)、京都市東山蹴上にて秋の文化交流会が開催され、8名の会員が参加しました。

午前中は京都市国際交流会館会議室にて、職員の方から国際交流会館の活動の概略について、そして元京都市副市長で前・国際交流会館館長の藤田裕之様から世界文化自由都市京都の国際文化交流の現状について大変貴重なお話をお聞きしました。

南禅寺は精進料理の湯豆腐が大変有名でその界限には多くの名店がありますが、昼食は南禅寺料庭「八千代」にて湯豆腐御膳をいただきました。軽くビールや日本酒を飲みながら会員相互、高校時代の懐かしい話で大いに盛り上がりました。

午後最初に訪れたのは、1890年代に造営された第3代内閣総理大臣山縣有朋の別荘「無鄰菴」。無鄰菴は庭園と母屋・洋館・茶室の3つの建物によって構成されており、庭園は施主山縣有朋の指示に基づき、七代目小川治兵衛により作庭された近代日本庭園の傑作として知られています。この洋館2階では、日露戦争前夜1903年4月21日に「無鄰菴会議」が開催され、その後の日本外交が決定されました。

その後、琵琶湖疎水や蹴上インクラインを眺めながら南禅寺方面に向かい、まずは南禅寺三門を見学しました。楼上からは京都市内が一望でき、誰もが石川五右衛門の「絶景かな、絶景かな」の科白を叫びたくなります。楼上への急な階段を登るのはかなりきついです。松本城天守閣に比べたら大したことはありません。楼上から南禅寺の塔頭天授庵の紅葉が色づき始めているのを見て、長い夏のアトようやく秋が訪れたことを実感しました。

次に訪れた南禅寺水路閣は琵琶湖から京都伏見に至る琵琶湖疎水流路の一部ですが、レンガ造りによる古代ローマ風様式が人気となり、観光客が絶えることはありません。ここで記念写真を撮影し、最後の訪問地の南禅寺方丈(国宝)へと向かいました。

南禅寺は、臨済宗を代表する寺院京都五山の別格上位に位置づけられる格式を持つ禅寺で、その中心的役割を担う建造物が方丈です。方丈は、大方丈とそれに接続する小方丈の二つの建物からなりますが、大方丈は旧御所の清涼殿が下賜され移築されたものと伝わります。建物内部は狩野派の襖絵で飾られていますが、制作から400年が経過した今日、かつての鮮やかな色彩の多くが失われた為、南禅寺では襖絵の多くを現代的手法で復元し、展示しています。私達はこの復元作業により、鮮やかな色彩で蘇った狩野派美術の傑作を十分に堪能することができました。



10月後半という紅葉には少し早い時期の文化交流会でしたが、蹴上には多くの観光客が集まっていました。各訪問地では、日本語に加えて、中国語、韓国語、英語、フランス語、スペイン語等多くの外国語が話され、世界文化自由都市京都がコロナ禍から完全に復活したことを実感しました。

最後に今回の文化交流会で京都国際交流会館での講演会、無鄰館予約等ご手配いただいた荻原会長に深謝申し上げます。

(73期 武舎 一夫)

ふるさとの話題

【編集者より】本稿は関西同窓会48期関口貞雄様より寄稿いただいたものですが、長編に亘るため、本号では前半のみの掲載とし、後半は令和6年7月発行予定の次号に掲載いたします。

上田中学校同窓会結成前後の出来事(上)

48期 関口貞雄

はじめに (文中敬称略)

上田中学校同窓会が結成され、発足したのは大正15年(1926)9月のことで、1-4期の諸先輩(池田、小泉、黒沢、宮入)が努力し、医師柳沢文三郎(1期)が会長に就任した。この前後に起こった二つの出来事をご紹介します、同窓会結成と4年後の奨学金制度設定との関係を考察しようと思う。

1. 同窓会結成前夜の事(西原三男平より清水正邦へ奨学金)

数年前の事、私の友人清水邦達から電話があり、彼の父清水正邦(21期)が上田市の西原さんから奨学金を提供して頂き、無事に京都大学法科を卒業出来た。卒業後、明治生命に就職した父は数年で礼状と共に返済した。しかし父が他界し、西原さんがどんな人で、仲介した人が誰なのか判らないので調べて欲しいと依頼された。そこで私が大正時代の上田市の多額納税者リストを調べると、唯一人西原三男平の名前があった。

西原は上田市鎌原の生れで、山極勝三郎(旧姓山本)の幼友達であった。上田変則中学校を卒業後、医学を志して上京し、慈恵医専へ入学した。

在学中は山極の提唱した上田郷友会に属し、会報の編集長勝俣英吉郎の助手を務めた。卒業後帰郷し、上田市鎌原に西原医院を開いたが、最新の西洋医学を学んで帰郷したので、繁盛し財をなした。

清水家は丸子町辰ノ口の江戸時代から続く庄屋で、清水正邦の父義三郎は大正時代の初期に”東内村組合製糸”を設立し、第一次世界大戦のブームで会社を発展させ、丸子町地区の長野県会議員に選出された。しかし第一次大戦後に不況となり、過労が重なって大正11年(1922)に病死した。翌年の関東大震災後に襲った不況も追い打ちとなり、東内村組合製糸は倒産に追い込まれた。その年大正13年(1924)は義三郎の次男正邦が上田中学校から進んだ松本高校を卒業し、京都大学法科に合格した時で、学費が払えなくなり進学を諦めざるを得ない状況にあった。この時地元で事情をよく知った金子行徳信濃絹糸(株)社長(金子理事長の祖父)が心を痛め、上田支校時代の同級生医師柳沢文三郎に相談したと思われる。柳沢から同業医師西原に伝わりを、篤志家西原が援助を承諾したものと推測される。その結果、清水正邦は京都大学在学中(大正13年(1924)4月-昭和3年(1928)3月)4年間、西原からの学費援助を受けて無事に卒業することが出来た。

丁度その時に上田中学校同窓会結成の気運が盛り上がり、柳沢のところに相談があったので、柳沢は苦学生のためにも同窓会の必要性を痛感し、初代会長を引き受ける決心をしたものと推測される。

義三郎の死後、家業を長男が継いだ。関東大震災後の不況により会社が倒産し、その後処理の心労のために急死してしまった。残された破綻会社の後整理のため、次男の正邦は明治生命を退職せざるを得なかった。

整理完了後は教職に転じ、上田染谷丘女学校教諭、小諸女学校校長、戦後のGHQによる公職追放、解除後は長野県庁へ入り、上小地方事務所長、民生局長、長野県立短期大学学長を歴任した。

正邦の長男清水邦達（48期、途中で長野北高校に転校）は大学卒業後厚木ナイロン（株）に入社し、女性ストッキングの普及に伴う会社発展に功績があり、取締役となって引退した。コロナ禍の最中、3年前に他界したが、生前私に ”もし父に対して上田中学校同窓生の皆さんからのご援助がなければ、今日の清水家は存在していない。深く感謝しています。”と云っていた。（次号に続く）

関西この人

上田高校89期卒業です。現在、会社員と共に、個人事業主としても活動しております。

1973年生まれ、国分で生まれ育ちました。母の実家が上田高校からも近い刀屋そば店を営んでいます。創業した祖父は、自分の店を持った際、普通もりで注文されても大盛りで出すというサービスを始めました。まだ始めたばかりの自分の店にご来店いただいたお客様にできる限りのおもてなしをしたいという思いだったそうです。そんな祖父を誇りに思っています。

上田高校時代は、これといった目標もない学生で、現役で大学には合格せず、結局2年浪人して同志社大学に入学致しました。

大学を卒業し、大阪に本社がある食品会社に就職し、25年になります。結婚して高校生、中学生、小学生の三人の子供がいます。これからの教育費などを考えると経済的に不安を感じ、何とか改善できないかと考え、50歳を前に個人事業主としての起業を模索し始めました。

とはいえ、これまでの会社員生活を続けた中で取り立てて事業化できるスキルもノウハウもありません。様々な可能性を探る中で、インターネット関連事業にチャレンジしてみようと思い至りました。具体的にはホームページ制作や、決済機能をつけたネットショップ制作の事業です。

入社前や帰宅後、そして通勤電車の中などで、オンラインスクールの動画授業を視聴し、約1年程スキルを身につけました。2023年の夏前からクラウドソーシングサービス（インターネット上の仕事の受発注サービス）の案件に応募し、数件の案件を受注させていただけるようになりました。現在はさらに多くのご要望にお応えできるようにスキルを磨いています。

変化の多い社会の中で大切なのは、助け合える仲間、共に進める人とのつながりかと思えます。私にできることがありましたら喜んでさせていただきます。お気軽にお声がけください。最後までお読みいただきありがとうございます。



内藤文雄（89期）

令和6年文化サロン

上田高校関西同窓会第16回文化サロンのご案内

「中国の台頭と米中競合（覇権競争）論を考える」

上田高校関西同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。文化サロンは皆様のご協力により、今回第16回目の開催を迎えますが、講師に上田高校関西同窓会前会長の竹内俊隆様をお招きし、題記の件につきましてお話しいただきます。中国は急激な経済成長に伴い軍事大国化も進み、尖閣や南シナ海での領土問題、はたまた緊張度が増している台湾海峡問題など様々な外交的問題を引き起こしております。今回の文化サロンでは、世界の覇権国を目指す中国の政治的野望とそれに関連する諸問題につきまして、多面的にお話し頂く予定です。

【日時】 2024年2月25日（日） 午後1時～4時

【場所】 ホテル・アウイーナ大阪 207号室

〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12

<アクセス> 大阪上本町駅から徒歩3分・地下鉄谷町9丁目駅から徒歩8分

【講師】 竹内俊隆（関西同窓会監事68期）

【会費】 1,000円

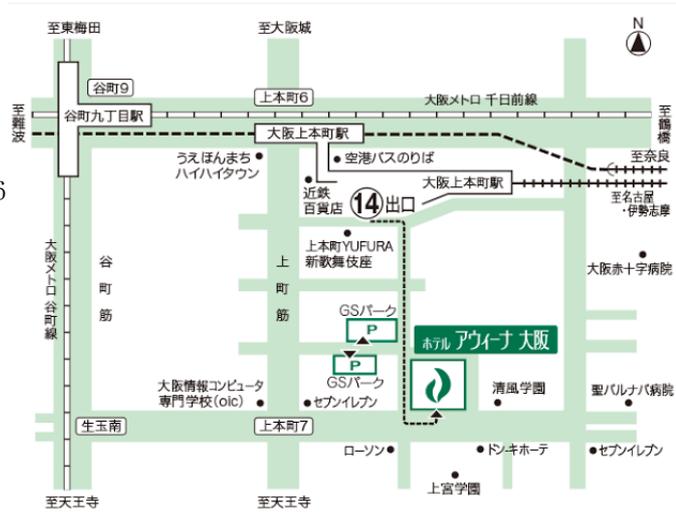
【申込先】 〒635-0013

奈良県大和高田市昭和町8-11-226

武舎 一夫

email: pretrejean@nifty.com

電話: 090-9851-5778



この会報が皆様のお手元に届く頃には、2024年台湾総統選挙の結果も判明し、中国問題が今以上にクローズアップされているものと思われます。皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。お申込みは、電子メールもしくは電話にてお願い致します。